

2008年サラゴサ国際博覧会について
(EXPO ZARAGOZA 2008)

1. 概要

- (1) 性 格：国際博覧会条約に基づく認定博覧会
- (2) テーマ：「水と持続可能な開発」
(Water and Sustainable Development)
- (3) 場所及び会期：①スペイン国サラゴサ市
②2008年6月14日～同年9月14日(93日間)
- (4) 規 模：面積 25ヘクタール
- (5) 参加予定国(平成18年9月末現在)：
フランス、ドイツ、イタリア、ポルトガル、ベルギー、オーストリア、ポーランド、ロシア、中国、韓国、マレーシア、ペルー、コロンビア、トルコ、エジプト等52カ国

2. 我が国の参加の意義

- (1) スペイン国は、昨年我が国で開催された愛・地球博にいち早く参加表明を行うとともに、全17自治州のミッションを派遣するなど愛・地球博に貢献した。本博覧会は、スペイン国が国を挙げて取り組む重要な事業であり、我が国がこれに参加し、積極的に対応していくことは、日・スペイン間、日・EU間の友好親善を図り、経済・文化交流の一層の緊密化を図る上で大きな意義を有すること。
- (2) 「水と持続可能な開発」をテーマに開催される本博覧会は、水との新しい関係を構築するための地球的規模の枠組みを創造するとともに、水に関する持続的可能なモデルを共有し、より望ましい習慣を確立することの重要性を認識することを目的としており、第3回世界水フォーラムを開催するなど、水に関する課題に積極的に取り組んできた我が国として、地球的規模の課題解決に我が国の伝統的な知恵や技術などを提示することで国際貢献を果たす絶好の機会となること。
- (3) 愛・地球博の開催国として、地球的課題の解決への寄与を目的とした21世紀型万博を成功させた経験を活かし、その理念や成果を本博覧会の成功に向けて積極的に貢献を果たすことは、我が国の責務であること。